

「みなさんと共に、住みよい町に」——

この思いで18年

議会でも「おはよう」宣伝
でも頑張ってきました

日本共産党現職

18年前、温かく迎えてくれた

みなさんに感謝

私は1991年に、日本共産党の議席を引き継ぐために、佐々町に移ってきました。右も左もわからない私を、町民みなさんが温かく迎えてくれたことを、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

それから18年。「みなさんと共に、住みよい町にしたい」の思いで、議会の仕事にとりくみ、続けてきた「おはよう」宣伝。みなさんのご支援があったからこそ、続けることができました。

町の将来にとって大事なとき、
しっかりした立場で

いま、町の将来にとって本当に大事な節目の時。私はいち早く「住民投票で示された町民の意思を尊重した町づくり」をめざすことを、表明しました。

町にとって激動の時ですが、こういう時こそ町民の立場に立ってしっかり頑張りたいと思っています。

みなさんのお役に立ちたい

「生活が苦しい。何とかしてほしい」ということを、どれだけ聞いたことでしょうか。私はこうしてお声に少しでも役に立ちたいと、頑張ってきました。それは私と妻がこの18年間、町民みなさんにたくさん励ましをいただき、恩返しをしたいと思ってきたからです。また、私自身、戦後困難な時の幼児期に、地域の人たちに支えられて育った経験があるからです。

これからもみなさんの声を聞き、しっかり議会に届けて、くらしと福祉を守るために力をつくしていきたいと思っています。
もうひとまわりのお力添えを、心よりお願いします。



清流・佐々川